

2023年6月13日

株式会社ベネッセホールディングス

## 当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

この度、取締役会の実効性評価を実施いたしましたので、その結果の概要を公表いたします。

### 1. 評価の方法

取締役会の実効性に関する質問票をすべての取締役および監査役に配付し、回答を得ました。取締役および監査役の回答を踏まえ、取締役会は取締役会の実効性に関する分析および自己評価を行い、その結果を審議いたしました。

#### (1) 対象者

取締役、監査役 合計 12 名

#### (2) 方法・内容

実施時期:2023年3月末~4月上旬

回答方法:5段階評価+フリーコメント/記名式アンケート

評価項目:

- ① 取締役会の全体評価について
- ② 取締役会の構成について
- ③ 取締役会の運営について
- ④ 取締役会の議論の質について
- ⑤ 情報提供・トレーニングについて
- ⑥ 株主・投資家等との対話について

### 2. 分析・評価結果を踏まえた今後の対応

アンケートの結果、取締役会の実効性が高いレベルで維持されており、取締役会において本質的な議論が行われていることが確認されました。当社取締役会の役割に鑑み、以下の観点から、取締役会全体としての実効性が高い状態で維持されていると判断いたします。

- ・取締役・監査役が経験や専門性を活かした建設的な議論がなされている。
- ・企業価値向上に向け、中期的なグループ戦略に関する議論が活発になされている。

一方、取締役会の実効性を高め、企業価値を向上し続けるために、今回のアンケートの結果を踏まえ、グループのあるべきガバナンスについて取締役、監査役全員で議論した結果、2023年度は、以下の項目に重点的に取り組むことを確認しました。

- 事業ごとの目標と課題に関連する主要 KPI、競合の状況、リスク等を把握した上で、資本コストの把握や事業ポートフォリオのあり方、資源配分等についての議論を一層深める
- コロナ禍以前に実施していた各種社内行事への参加、現場視察、事業現場関係者との交流会等を再開し、事業理解を深める

当社は、以上の取り組みを行うことにより、引き続き、取締役会の実効性向上、コーポレートガバナンスの強化に努めてまいります。

#### ＜参考＞ 前回アンケートの結果に対する取り組み

2022年度は、前回アンケートの結果から、以下の項目に重点的に取り組むことを取締役会で確認し、取締役会の議論の質の向上と、実効性の向上に努めてまいりました。

- ① 役員研究会の活用、並びに状況に応じ役員合宿を開催することにより、グループ全体での事業ポートフォリオのあり方、経営資源の配分に関して、必要情報を整理の上、引き続き議論を深化させる
- ② サステナビリティ・ESG推進委員会における検討結果を踏まえ、取締役会におけるESG・サステナビリティに関する議論を深化させる
- ③ 指名報酬委員会におけるダイバーシティ&インクルージョンに関する議論の内容につき、取締役会において報告及び議論を行う
- ④ オンラインによる各種社内行事への参加、現場視察の再開、事業現場関係者との交流会等を通じた事業理解の促進

以上の取り組みの結果、取締役会で質の高い議論が行われました。引き続き企業価値向上のため、これらの議論を継続してまいります。

以上